

2016年度第3四半期 決算説明会資料

財務責任者 見浪 直博

※本資料に含まれる数値は各事業の業績を分かりやすく説明するために使用しており、財務諸表の数値と異なる場合があります。
※各用語の定義については、Slide3に明記しております。

将来に関する記述等についてのご注意

本資料には、当社又は当社グループの業績に関連して将来に関する記述を含んでおります。かかる将来に関する記述は、「考えています」「見込んでいます」「予期しています」「予想しています」「予見しています」「計画」「戦略」「可能性」等の語句や、将来の事業活動、業績、事象又は条件を表す同様の語句を含むことがあります。将来に関する記述は、現在入手できる情報に基づく経営者の判断、予測、期待、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。これらの記述ないし事実又は前提（仮定）については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もなく、当社としてその実現を約束する趣旨のものでもありません。また、かかる将来に関する記述は、さまざまなリスクや不確実性に晒されており、実際の業績は、将来に関する記述における見込みと大きく異なる場合があります。その内、現時点で想定される主なものとして、以下のような事項を挙げることができます（なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません）。

- (1) 喫煙に関する健康上の懸念の増大
- (2) たばこに関する国内外の法令規則による規制等の導入・変更（増税、たばこ製品の販売、国産葉たばこの買入れ義務、包装、ラベル、マーケティング及び使用に関する政府の規制等）、喫煙に関する民間規制及び政府による調査の影響等
- (3) 国内外の訴訟の動向
- (4) 国内たばこ事業、海外たばこ事業以外へ多角化する当社の能力
- (5) 国際的な事業拡大と、日本国外への投資を成功させる当社の能力
- (6) 市場における他社との競争激化、銘柄嗜好の変化及び需要の減少
- (7) 買収やビジネスの多角化に伴う影響
- (8) 国内外の経済状況
- (9) 為替変動及び原材料費の変動
- (10) 自然災害及び不測の事態等

<用語の定義>

調整後営業利益：	調整後営業利益 = 営業利益 + 買収に伴い生じた無形資産に係る償却費 + 調整項目（収益及び費用）* *調整項目（収益及び費用）= のれんの減損損失 ± リストラクチャリング収益及び費用等
四半期利益：	親会社の所有者に帰属する四半期利益
総販売数量： (海外たばこ事業)	水たばこ/Emerging Products/製造受託を除き、Fine Cut/Cigar/Pipe/Snus込み
自社たばこ製品売上収益： (海外たばこ事業)	物流事業、製造受託等を除き、水たばこ、Emerging Productsの売上込み
販売数量： (国内たばこ事業)	国内免税販売/中国事業/Emerging Productsを含まない
自社たばこ製品売上収益： (国内たばこ事業)	輸入たばこ配送手数料収益等を除き、国内免税販売/中国事業/Ploom TECHのデバイス・カプセルを含むEmerging Productsの売上込み

(このスライドは空白です)

全社実績 2016年1-9月

*本プレゼンテーションにおける比較情報としての2015年度実績は、継続事業ベースにてお示しております
(継続事業・非継続事業の分類に関する詳細は決算補足資料1ページをご参照ください)

全社実績

全社為替一定ベースで11%超の利益成長

(億円)

	2015年 1-9月	2016年 1-9月	増減率
調整後営業利益 (為替一定ベース)	5,103	5,706	+11.8%
売上収益	16,885	16,185	-4.1%
調整後営業利益	5,103	4,765	-6.6%
営業利益	4,559	4,946	+8.5%
四半期利益	3,171	3,500	+10.4%

事業別実績 2016年1-9月

海外たばこ事業実績

GFB数量増・プライシング効果により力強い実績

(億本,百万US\$)

	2015年 1-9月	2016年 1-9月	増減率
総販売数量	2,956	3,042	+2.9%
GFB販売数量	2,054	2,163	+5.3%
為替一定ベース			
自社たばこ製品売上収益	7,823	8,676	+10.9%
調整後営業利益	2,715	3,134	+15.4%
財務報告ベース			
自社たばこ製品売上収益	7,823	8,062	+3.1%
調整後営業利益	2,715	2,626	-3.3%
円ベース (億円)			
自社たばこ製品売上収益	9,469	8,731	-7.8%
調整後営業利益	3,285	2,850	-13.2%

クラスター別実績

<u>対前年同期 増減率</u>	<u>2016年 1-3月</u>	<u>2016年 4-6月</u>	<u>2016年 7-9月</u>	<u>2016年 1-9月</u>
South & West Europe				
総販売数量	12.2%	4.0%	-0.1%	5.1%
GFB販売数量	14.3%	6.6%	1.2%	7.1%
自社たばこ製品売上収益（為替一定ベース）	14.8%	5.6%	4.2%	8.0%
North & Central Europe				
総販売数量	4.5%	4.5%	0.9%	3.2%
GFB販売数量	15.6%	14.0%	8.9%	12.6%
自社たばこ製品売上収益（為替一定ベース）	6.4%	8.7%	4.7%	6.5%

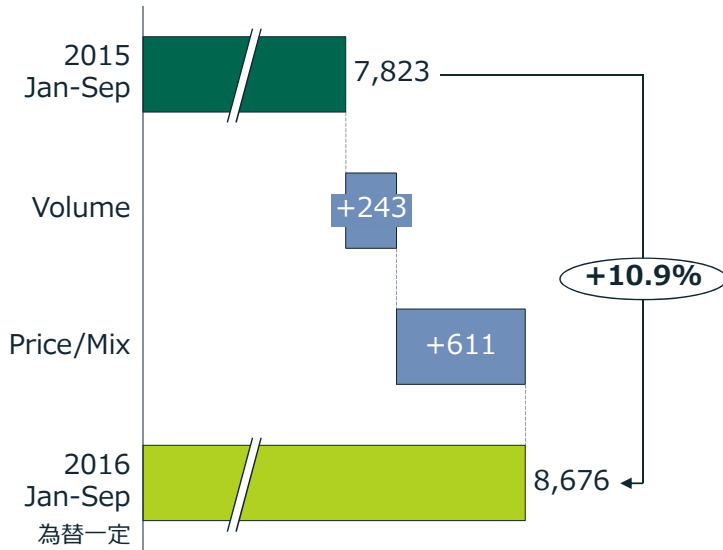
クラスター別実績

<u>対前年同期 増減率</u>	<u>2016年 1-3月</u>	<u>2016年 4-6月</u>	<u>2016年 7-9月</u>	<u>2016年 1-9月</u>
CIS+				
総販売数量	-0.6%	-7.2%	-8.7%	-5.9%
GFB販売数量	3.1%	-6.0%	-6.4%	-3.7%
自社たばこ製品売上収益（為替一定ベース）	13.9%	5.9%	1.1%	6.2%
Rest-of-the-World				
総販売数量	13.9%	13.0%	11.3%	12.7%
GFB販売数量	16.3%	12.3%	16.2%	14.9%
自社たばこ製品売上収益（為替一定ベース）	18.3%	22.8%	18.0%	19.7%

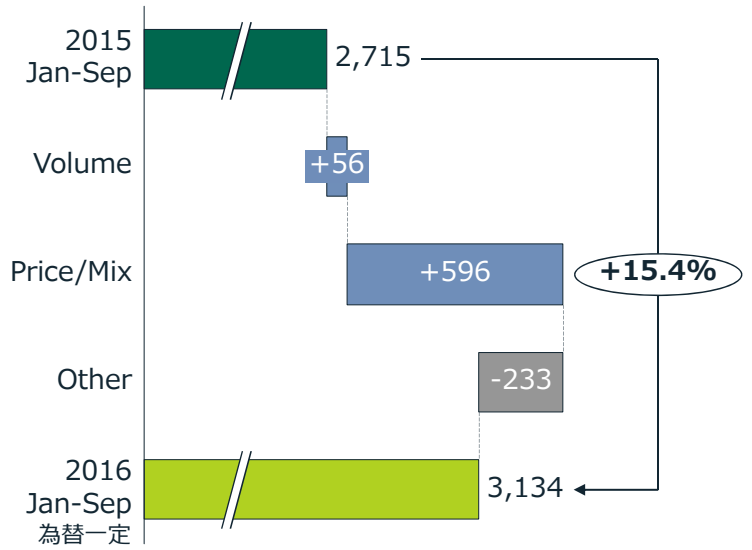
トップラインの伸長により二桁の利益成長

(百万US\$/為替一定)

自社たばこ製品売上収益



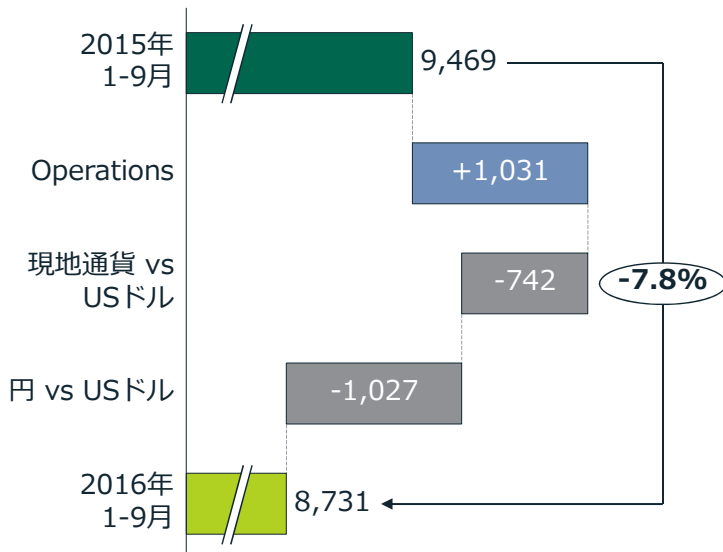
調整後営業利益



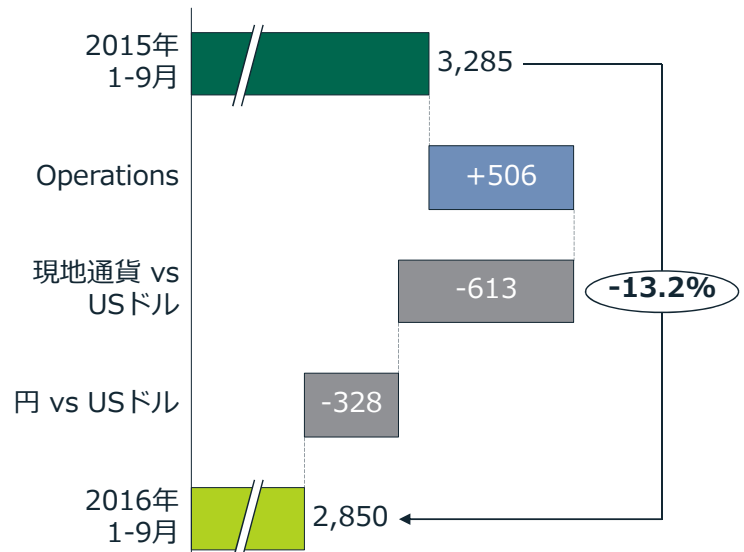
厳しい為替影響は継続

(億円)

自社たばこ製品売上収益



調整後営業利益



販売数量の減少はあるものの、トップライン/利益は底堅く推移

(億本, 億円)

	2015年 1-9月	2016年 1-9月	増減率/ 増減%pt
JT販売数量	813	797	-1.9%
JTシェア	59.9%	61.0%	+1.1%pt
MEVIUSシェア	32.1%	31.4%	-0.7%pt
自社たばこ製品売上収益	4,782	4,855	+1.5%
調整後営業利益	1,976	1,990	+0.7%

※ JT販売数量：国内免税販売/中国事業/Emerging Productsを除く
 なお、自社たばこ製品売上収益にはPloom TECHのデバイス・カプセルの売上を含む

医薬・加工食品事業ともに全社利益成長に貢献

(億円)

	2015年 1-9月	2016年 1-9月	増減額
医薬事業			
売上収益	534	607	+73
調整後営業利益	-33	42	+75
加工食品事業			
売上収益	1,205	1,201	-4
調整後営業利益	13	37	+24

2016年度修正見込

全社業績見込

為替一定ベースの調整後営業利益を100億円上方修正

(億円)

	前回見込	今回見込	対前回見込 増減	対前年 増減率
調整後営業利益 (為替一定ベース)	6,800	6,900	+100	+10.1%
売上収益	21,200	21,200	-	-5.9%
調整後営業利益	5,690	5,760	+70	-8.1%
営業利益	5,720	5,800	+80	+2.6%
当期利益	4,090	4,140	+50	+3.9%

引き続き堅調なビジネスパフォーマンスを見込む

(億本,百万US\$)

	前回見込	今回見込	対前回見込 増減	対前年 増減率
総販売数量	4,020	4,020	-	+2.0%
GFB販売数量	2,850	2,850	-	+4.2%
為替一定ベース				
自社たばこ製品売上収益	11,180	11,200	+20	+8.3%
調整後営業利益	3,630	3,660	+30	+12.4%
財務報告ベース				
自社たばこ製品売上収益	10,580	10,530	-50	+1.9%
調整後営業利益	3,080	3,060	-20	-6.1%
円ベース (億円)				
自社たばこ製品売上収益	11,180	11,200	+20	-10.6%
調整後営業利益	3,280	3,280	-	-16.8%

数量は足元の動向を反映、利益見通しは変更なし

(億本, 億円)

	前回見込	今回見込	対前回見込 増減	対前年 増減率
JT販売数量	1,070	1,060	-10	-3.0%
自社たばこ製品売上収益	6,550	6,490	-60	+1.1%
調整後営業利益	2,610	2,610	-	+2.7%

※ JT販売数量：国内免税販売/中国事業/Emerging Productsを除く
 なお、自社たばこ製品売上収益にはPloom TECHのデバイス・カプセルの売上を含む

T-Vaporカテゴリーに対する基本スタンスおよびPloom TECHの状況

T-Vapor カテゴリー

- たばこ事業の将来成長をより確実にする機会と認識し注力
 - ✓ お客様の多様なニーズに応える上で必須のカテゴリーの一つ
 - ✓ 拡大しつつあるT-Vapor市場を更に盛り上げていく
 - ✓ 3～5年以内には日本においてこのカテゴリーでもマーケットリーダーを目指す

Ploom TECH

- 商品力に確かな手ごたえ
 - ✓ 定着率が発売当初から順調に上昇
- 製造能力の増強に向けた取り組みは着実に進捗
 - ✓ 供給能力は発売当初から4倍以上へ増強済み、高速の製造機械の開発・導入も順調に進行中
- 販売拡大に対する考え方
 - ✓ お客様の購買行動・使用頻度を踏まえ、2017年の早い時期に大都市圏から段階的に販売エリアを拡大
- たばこ製品の使用に伴う健康へのリスクを低減させる可能性がある製品と期待

医薬・加工食品事業見込

医薬事業はロイヤリティ増加を見込み上方修正 加工食品事業は今期も着実な増益に自信

(億円)

	前回見込	今回見込	対前回見込 増減	対前年 増減
医薬事業				
売上収益	820	860	+40	+104
調整後営業利益	40	85	+45	+108
加工食品事業				
売上収益	1,690	1,660	-30	+2
調整後営業利益	45	45	-	+18

終わりに

Closing Remarks

厳しい環境下においても、高い利益成長の達成に自信

- 為替一定調整後営業利益を100億円上方修正、当期通年二桁成長へ
- 中長期にわたる持続的利益成長を目指し、事業投資も着実に実行
 - ✓ 地理的拡大の更なる進展
 - ✓ ブランドエクイティの向上
 - ✓ Emerging Products分野への取り組み
- 配当金予想は128円から変更なし

